

## 1 活動目的

私たち獨協大学高松ゼミは、平成29年度より飯能市で「ふるさと支援隊」の活動を開始した。活動の中心エリアは西吾野地区である。西吾野地域を含む飯能市の活性化を目的に活動をした。そこは獨協大学からは電車でおよそ2時間という立地にある。

今年度は支援隊活動4年目を迎え、「ふるさと支援隊」の一員として、飯能市を舞台に有終の美を飾るべく活動を行った。昨年度からのコロナウイルスに最大の留意を払いながらの制約された活動ではあったが、6つの班を編成し、少人数で活動することで、それぞれ担当課題・課題解決項目を定め、Zoomアプリを用いて各班の成果を報告しあう形をとった。その結果、下記8つの目標を立てての活動となった。（目標が8つと数があるため以下では目標番号を記載する。）

- ① 飯能市の人口を増加させるための街づくりや政策などを考え、提案
- ② 飯能市で「Hello again coin」という地域通貨を使った活動をしている株式会社シンカの課題や現状理解
- ③ 乗合ワゴンの改善策を考え、より良い交通手段として新たな可能性の思索
- ④ 渋沢栄一、渋沢平九郎の軌跡をたどり、歴史的観点から見た飯能市について理解を深め、飯能市に還元
- ⑤ 吾野地区の抱える人口面や環境面、商業面など様々な課題の解決方法の思索
- ⑥ 吾野地区における観光事業発展を主軸とし、地域が抱える問題の明確
- ⑦ 飯能市に新規移住者を増やすことで地方分散化が図れると仮説を立てその集客案の立案
- ⑧ メツァ・ムーミンバレーパークやノーラ名栗などの施設をより認知してもらうための思案を立てる

## 2 活動地域の現状

飯能市は、埼玉県の南西部に位置する市であり、人口は約8万人。ムーミンのテーマパーク「ムーミンバレーパーク」や、アウトドア施設「ノーラ名栗」を有する自然豊かな地域である。一方、人口減少やマイカー利用者の増加などにより公共交通機関の利用者が減少しているとの課題も抱えている。

## 3 活動内容

### 目標①

飯能市在住のチーム足音代表である樺沢さんという方にインタビューを行い、自然が多いことや住民同士のつながりが深いことを改めて確認できた。移住者に対してのアフターフォローが移住者を増やしていくことの鍵になるということ伺えた。

### 目標②

- ・シンカについての知識をまず深め、zoomにて株式会社シンカの代表と質疑応答を行った。

・「謎解きまち歩きイベント」の企画構成会議をプロ作家と行った。

#### 目標③

- ・学生で「乗合ワゴン」の特徴とメリットについて意見を出し合い知識を深め、タクシーを乗合タクシーとして試験運転をすることを提案した。
- ・乗合ワゴンを考案し、運営している平沼さんにインタビューできた。

#### 目標④

渋沢平九郎のことを深く理解するためには平九郎が戦った場所を実際に見る必要があると考え、観音寺と能仁寺、館長から詳しく話を聞くために飯能市立博物館に訪れた。



#### 目標⑤

- ・飯能市の廃校になった小学校を散策できた。
- ・地域の方に飯能市の林業の現状についてインタビューできた。

#### 目標⑥

- ・吾野宿内にあるゲストハウス吾野宿&カフェレストランなどを訪問した。
- ・吾野宿についてその地に住まわれる地域の方へインタビューできた。

#### 目標⑦

- ・飯能市にある材木店やムーミンバレーパークを訪問できた。
- ・フィールドワークをもとに飯能市の課題や魅力について獨協大学主催のプレゼンテーションコンテストで発表した。



#### 目標⑧

飯能商工会議所会頭の矢島様と職員の方に向けたプレゼンテーションでは、実現度の高いテーマに対して種々コメントがあり、コロナ禍ということを考慮に入れた今後の展開についての意見交換ができた。

## 4 成果

- ① 市に提案をすることはできなかったが、どのような政策をとるのがよいかを実際にプランとして作ることができた。インタビューから実際に飯能市へ移住して感じた事をプランに組み込んで考えられた。

- ②株式会社シンカ様に対し、「今後どのくらい加盟店を増やしたいか」「消費者側へのメリットは何か」「シンカの課題は何か」等の質問を通じてシンカの理解や、課題について知識を深めることが出来た。
- ③乗合ワゴンの考案者である平沼弘様に提案させていただいた。私たちが調べた情報と実際のワゴンの状況とでは異なる点があり、今回は乗り合ワゴンの現状について詳しく学べた。
- ④実際に飯能を訪れ、飯能をよく知らない人が見ても分かるような資料作成・発表を意識した。今回の活動では SNS での宣伝やポスターの掲示まではする事が出来なかったが、もしまだ飯能市に携わる機会が有れば活かせると考える。
- ⑤「吾野の林業がなぜ衰退してしまったのか」「吾野の人口問題と住民の暮らしについて」「飯能の緑と水が都心の暮らしに精通している」これら3つの学びを得られた。
- ⑥ 吾野地区観光事業発展のための PR 方法をフィールドワーク等もとに考えられた。
- ⑦ 飯能市の既存資源である西川材を使用したサテライト・オフィスの提案の立案や現在の飯能市の林業の状況と今後の課題、これからの飯能市がどうあるべきかを学ぶことができた。
- ⑧商工会議所でのプレゼンを受け矢島さんと商工会議所の職員の方が昨年行ったメッツァでの花火大会の話を詳しくしてくださり、イベントの運営について具体的に知れた。

## 5 課題

- ① 飯能移住計画での課題、飯能移住者へ対する課題、飯能の獣害に対する課題
- ② 「シンカの普及」デジタルに弱い高齢者が多いため、シンカを使うに当たってデジタル化が進んでいることで普及しにくい点
- ③ 年齢層が高齢ということもあり、将来的な運転主不足の可能性があると、また乗合ワゴンの継続性の観点からも、新たな運転手の担い手の課題
- ④ フィールドワークが少なかった事により、インターネットやオンライン会議で学んだ内容を実際に飯能市で活かすことができなかった点
- ⑤ 西吾野地区の交通の不便さでの課題、少子高齢化による課題、森林の役割としての課題
- ⑥ 吾野宿での古民家再生や空き家対策における課題
- ⑦ 外国材の流通による日本林業の衰退問題
- ⑧ 既存資源の周知が足りないため、観光客の数が一定数に留まっている点

## 6 次年度以降の計画

飯能市で「Hello again coin」という地域通貨を使った活動をしている株式会社シンカ様と共に「Hello again coin」の普及と地域活性化の両方の効果を試みる。

内容としては、株式会社シンカ様と協力して飯能市吾野地区で街歩きを通じた謎解き等のイベントを行っていく。課題点としては「加盟店の活性化」「イベントを行う上での規模

と内容」「クロスワードの問題作成」があげられる。